

スリーブのピッチ入力と一括入力の違いは？①

個別の梁に配置するか、複数の梁に配置するかの違いです。

ピッチ入力：個別の梁に配置したい場合に使用します

例) Y1 通り上の大梁に基準位置 (X1 通り) から 1500 の位置に 1 箇所目を配置し、

2 箇所目以降を 1000 ピッチでスリーブを配置したい場合

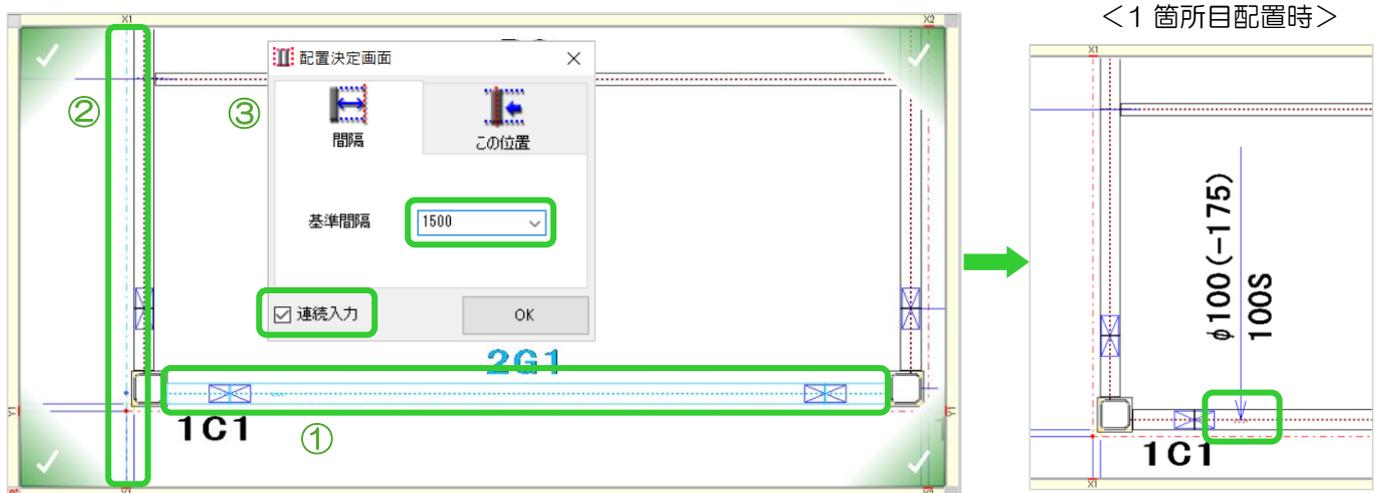
【二次部材】 - 【スリーブ】 - 【ピッチ入力】 をクリックします。右側の入力シートで各項目を設定します。



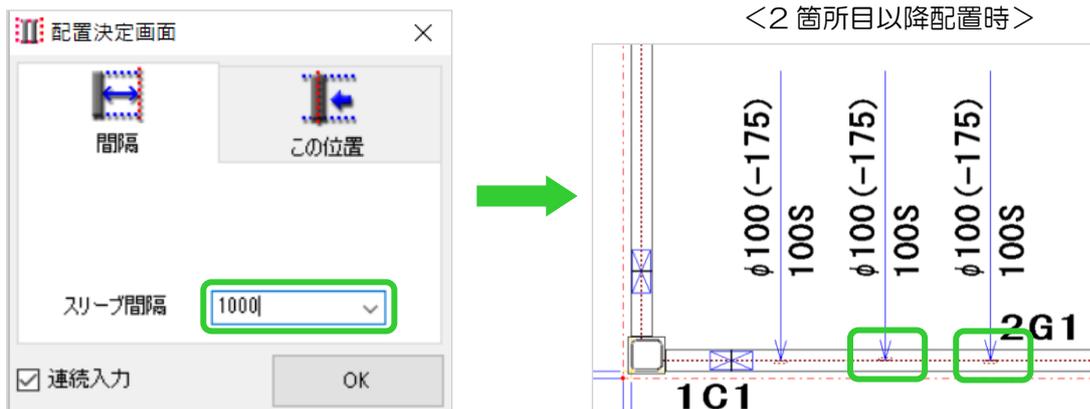
①スリーブを配置する梁をクリックします。

②基準位置 (X1 通り) をクリックします。

③配置決定画面は【間隔】で、配置決定画面の【基準間隔】に基準位置からの間隔を入力し基準位置 (X1 通り) よりスリーブを配置する側の画面上をクリックします。確定前に配置決定画面の【連続入力】に を入れることで続けて入力ができます。



2 箇所目以降に配置するスリーブ間隔値を配置決定画面の【スリーブ間隔】に入力し、画面上をクリックします。



スリーブのピッチ入力と一括入力の違いは？②

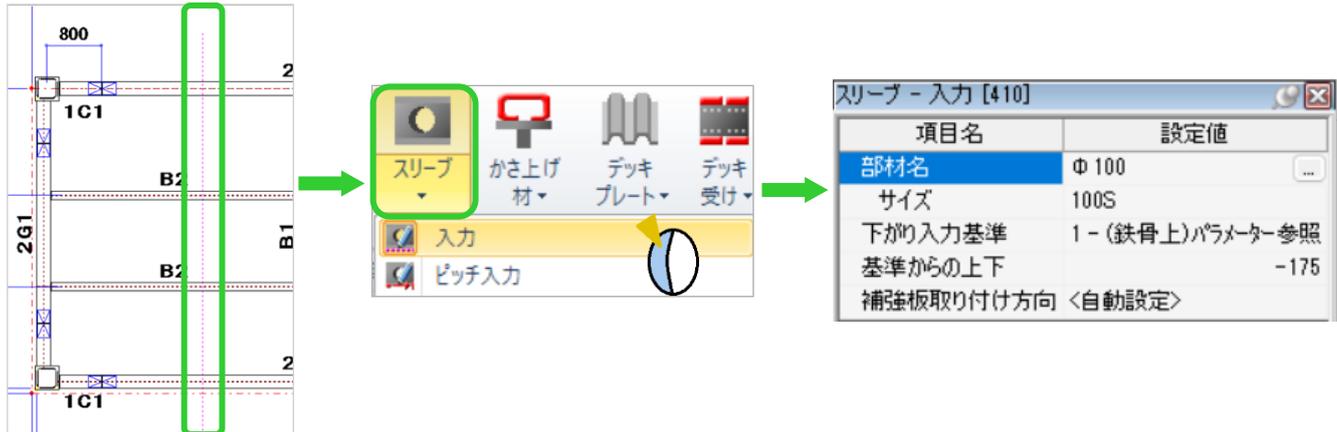
個別の梁に配置するか、複数の梁に配置するかの違いです。

一括入力：複数の梁に配置したい場合に使用します

例) Y1 通りと Y2 通り上の大梁に一括でスリーブを配置したい場合

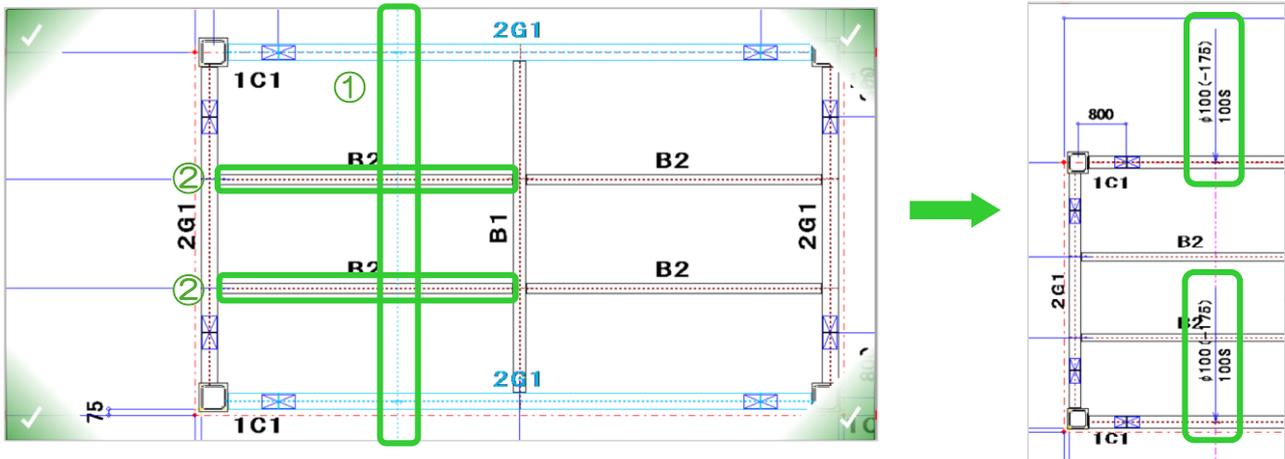
スリーブを配置したい位置に補助線を引きます。

【二次部材】 - 【スリーブ】 - 【入力】 をクリックします。右側の入力シートで各項目を設定します。



①補助線をクリックすると補助線と交差する梁が選択されます。

②スリーブを配置しない梁が選択されている場合は、梁を左クリックして選択解除し、四隅の をクリックして配置します。



【下がり入力基準】：【基準からの上下】で設定する高さの基準を指定します。

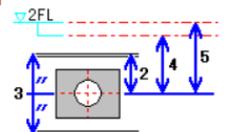
※平面図上に梁天端からの上下数値を出したい場合は【2-鉄骨上】を選択してください。

※【1-パラメーター参照】とした場合は【パラメーター】 - 【二次部材作成】 - 【46.スリーブ】

の【1.下がり入力基準】を参照しています。パラメーターでの設定中の値が

【1-(00)パラメーター参照】のように表記されます。

- 1-パラメーター参照
- 2-鉄骨上
- 3-鉄骨中心
- 4-階高上下
- 5-階高



【上下数値】：【下がり入力基準】で選択した基準から、スリーブ芯の上下数値を入力します。

【補強板取り付け方法】：スリーブの補強板の取り付け方向を指定します。

<自動設定> を選択すると、既製品の場合左右交互に配置します。